

令和2年12月期(第58期)第1四半期 決算ダイジェスト

連結売上高 574 億 93 百万円 (前年同期比+3.1%)

親会社株主に帰属する四半期純利益 23 億 21 百万円 (前年同期比△7.4%)

令和2年(2020)12月期 -第58期- 第1四半期 連結経営成績

	前期第1四半期 実績		令和2年(2020)12月期 第1四半期							
	実績	率	実績	率	前年増減額	前年同期比	予算	率	予算差額	予算比
売上高	557億81百万円	—	574億93百万円	—	+17億11百万円	+3.1	569億60百万円	—	+5億33百万円	+0.9
売上総利益	119億96百万円	21.5%	125億56百万円	21.8%	+5億60百万円	+4.7	122億58百万円	21.5%	+2億98百万円	+2.4
販売費及び一般管理費	83億81百万円	15.0%	92億18百万円	16.0%	+8億37百万円	+10.0	92億09百万円	16.2%	+9百万円	+0.1
営業利益	36億14百万円	6.5%	33億37百万円	5.8%	△2億77百万円	△7.7	30億48百万円	5.4%	+2億89百万円	+9.5
経常利益	36億72百万円	6.6%	33億84百万円	5.9%	△2億87百万円	△7.8	31億10百万円	5.5%	+2億74百万円	+8.8
親会社株主に帰属する四半期純利益	25億05百万円	4.5%	23億21百万円	4.0%	△1億84百万円	△7.4	21億17百万円	3.7%	+2億04百万円	+9.7
1株当たり四半期純利益	38円00銭	—	35円20銭	—	△2円80銭	—	32円10銭	—	+3円10銭	—
設備投資額	71億64百万円	—	40億75百万円	—	△30億89百万円	—	—	—	—	—

セグメント別実績

	令和元年(2019)12月期 第1四半期		令和2年(2020)12月期 第1四半期				
	売上高	売上総利益	売上高			売上総利益	
			金額	前年同期比	予算比	率	前年同期比
ファクトリールート	436 億 55 百万円	21.1%	433 億 50 百万円	△0.7%	△1.7%	21.3%	+0.2 pt
eビジネスルート	84 億 84 百万円	24.8%	101 億 16 百万円	+19.2%	+12.8%	25.2%	+0.4 pt
ホームセンタールート	32 億 81 百万円	17.6%	36 億 82 百万円	+12.2%	+4.8%	17.9%	+0.3 pt
海外ルート	3 億 60 百万円	32.0%	3 億 44 百万円	△4.5%	△11.4%	34.4%	+2.5 pt
全社合計	557 億 81 百万円	21.5%	574 億 93 百万円	+3.1%	+0.9%	21.8%	+0.3 pt

売上高【連結】 574 億 93 百万円 / 前年同期比+3.1%

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る商品群が好調であり、売上高拡大に寄与いたしました。

① **ファクトリールート 433 億 50 百万円(前年同期比△0.7%/△3.0 億円)【予算比△1.7%/△7.3 億円】**

米中貿易摩擦、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全体の景況感及び設備投資は前年に引き続き鈍化傾向です。同ウイルス感染拡大防止に付随する商品群や土木建築用品は好調に推移しています。

② **eビジネスルート 101 億 16 百万円(前年同期比+19.2%/+16.3 億円)【予算比+12.8%/+11.4 億円】**

通販企業向け 77 億 17 百万円(前年同期比+21.0%/+13.4 億円)
 MROサプライ※ 23 億 98 百万円(前年同期比+13.9%/+2.9 億円)

※大手ユーザー企業の購買担当者様を中心に利用されている電子購買向けの販売。

一部の通販企業様において景況感の影響により売上の減速がみられるものの、取扱商品の拡大や新型コロナウイルス感染拡大の巣ごもり効果により、通販企業様への受注が増加し、依然として売上高は拡大傾向にあります。

③ **ホームセンタールート 36 億 82 百万円(前年同期比+12.2%/+4.0 億円)【予算比+4.8%/+1.6 億円】**

プロショップへの売上高 5.6 億円(前年同期比+7.9%/+0.4 億円)

プロショップへの売上高拡大は継続しており、また主力のホームセンター様とも取り組みを強化しております。

売上総利益【連結】 売上総利益率 21.8% / 前年同期比+0.3ポイント ()前年同期比

- ① 粗利率の高い、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る商品群の売上拡大および、e ビジネスルートの売上及び粗利率が増加。(売上高前年同期比:+19.2%、売上総利益率前年同期比:+0.4pt)
- ② NB 商品粗利率:18.1%(+0.3pt)、PB 商品粗利率 36.3%(+0.6pt)。
- 【参考】PB 商品売上高構成比:19.9%、PB 商品売上高:11,472 百万円(+2.4%)

販売費及び一般管理費【連結】

92 億 18 百万円 / 前年同期比+10.0%(約 8.3 億円増加、主な要因は以下) ()前年同期比、要因は親単体にて記載

(1)運賃荷造費 15 億 73 百万円(+6.2%/+0.9 億円)

- ① 売上拡大等により路線便の出荷個数が+9.7%増加(約+86 百万円)
- ② 路線便の運賃値上による影響 (約+25 百万円)
- ③ 備車(契約配達便)の台数・・・計 172 台(△30 台) 自社便除く(△52 百万円)

(2)減価償却費 14 億 25 百万円(+26.8%/+3.0 億円)

- ① 物流センター「プラネット埼玉」「プラネット神戸」「プラネット東関東」の物流機器など(+91 百万円)
- ② 基幹システム「パラダイス」リニューアル(+195 百万円)

(3)支払手数料 8 億 51 百万円(+72.4%/+3.5 億円)

- ① システムリニューアルに伴う保守点検費用(+215 百万円)
- ② 新システム稼働後の初期対応費用等(+156 百万円)

(4)販売促進費 1 億 64 百万円(△43.3%/△1.2 億円)

- ① カタログ「2020 年度版トラスコ オレンジブック」のサイズ変更[B5⇒A4]による作業費用[△70 百万円]

(参考)給与及び賞与 24 億 01 百万円(+0.8%/+0.1 億円)

- ① 社員 1,597 名(+19 名) パートタイマー 1,133 名(+33 名)
- ② 社員残業代(△10 百万円)
- ③ パート給与(+32 百万円)

在庫に関する重要指標 ()前年同期比

- ①在庫アイテム数 : 39 万 6,700 アイテム (+17,600 アイテム)
- ②在庫ヒット率※: 90.7% (+0.4 ポイント) ※全受注のうち在庫から出荷した割合

令和 2 年(2020)12 月期 -第 58 期- 業績予想 (期初からの予想変更なし)

	連結			親単体		
	金額	率	前年比	金額	率	前年比
売上高	2,316 億 19 百万円	-	+5.0%	2,311 億 00 百万円	-	+4.9%
売上総利益	493 億 52 百万円	21.3%	+4.9%	491 億 00 百万円	21.2%	+4.8%
販売費及び一般管理費	363 億 45 百万円	15.7%	+9.4%	360 億 50 百万円	15.6%	+9.5%
営業利益	130 億 07 百万円	5.6%	△5.7%	130 億 50 百万円	5.6%	△6.3%
経常利益	132 億 57 百万円	5.7%	△6.6%	133 億 00 百万円	5.8%	△7.0%
当期純利益	90 億 12 百万円	3.9%	△6.3%	90 億 44 百万円	3.9%	△6.9%
1 株当たり当期純利益	136 円 66 銭	-	△9 円 12 銭	137 円 15 銭	-	△10 円 17 銭
PB 商品売上高	-	-	-	463 億 00 百万円	20.0%	+5.5%
設備投資額	111 億 52 百万円	-	△86 億 26 百万円	-	-	-

令和2年 2 月 10 日に公表しました令和2年(2020)12 月期の連結業績予想は、新型コロナウイルスの影響を想定していない数値をベースに策定しております。第1四半期の連結累計期間の実績はほぼ計画通りに推移しておりますが、今後連結業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。